

授業科目

相談援助実習指導I

担当教員名 青木 茂	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

相談援助実習の行われる機関・施設等の機能と役割、合わせて現状と課題を学ぶ。また、相談援助実習の目的・意義・内容等を正しく理解するとともに、実習意欲の涵養・助長を図るものとする。

授業の目的

本授業は、3年次前期に行う「相談援助実習III」の事前学習として位置付け、配属実習が円滑かつ有効に行われることを目的としている。

学習目標

1. 相談援助実習の意義及び目的等を理解する。
2. 相談援助に共通する援助技術について理解を深める。
3. 相談援助実習の行われる機関・施設等の対象となる利用者について理解を深める。
4. 相談援助実習の行われる機関・施設等の原状と課題について把握するとともに、考察する。
5. 社会人・組織人としての一般的なマナーや基本的な接遇マナーについて習得する。
6. 福祉専門職（社会福祉士）が相談援助に関わる意義について理解する。
7. プライバシーの尊重等、利用者の権利擁護について深く理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション（授業の進め方、内容と方法、留意事項等）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
2	相談援助実習の意義と理解	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
3	相談援助実習指定施設及び事業	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
4	社会福祉士の活躍の場と資格取得に必要な学習のプロセス	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
5	実習施設等の現状と課題 1（相談機関・福祉事務所等）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
6	実習施設等の現状と課題 2（児童福祉施設）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
7	実習施設等の現状と課題 3（社会福祉協議会）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
8	実習施設等の現状と課題 4（医療機関等）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
9	実習施設等の現状と課題 5（障害者福祉施設・身体障害施設）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
10	実習施設等の現状と課題 6（障害者福祉施設・知的障害施設）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
11	実習施設等の現状と課題 7（高齢者福祉施設・特別養護老人ホーム等）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
12	実習施設等の現状と課題 8（高齢者福祉施設・老人デイサービスセンター・地域包括支援センター等）	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
13	第1回から第12回までの振り返り	グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
14	接遇マナー	全体学習・グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁

15	まとめ	グループ別学習	青木 茂、武井 恒美、鈴木 未来、 藤沢 直子、星野 恵美子、丸山 仁
----	-----	---------	--

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	社会福祉士相談援助実習	社団法人日本社会福祉士養成校協会	中央法規			
参考書						
その他の資料	相談援助実習の手引き	新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科				

評価方法

リアクションペーパー（振り返りシート）及びレポートで評価

履修上の留意点

3年前期で行う「相談援助実習III」の履修には、本授業及び相談援助実習指導IIの履修が前提となる。

オフィスアワー・連絡先

主担当教員：青木茂
毎週水曜日・木曜日12:10～13:00
E317（研究棟2）
shigeru-aoki@nuhw.ac.jp